

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		野うさぎ			公表日	2025年	3月	10日
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切な配慮した上で状況や利用人数に合わせた人員配置を行っています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		厚生労働省による定められた適切な人員配置を行っています。			
	3	生活空間は、 こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、 事業所の設備等は、 障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、 環境上の配慮が適切になされているか。		○	施設内に階段があるために、 完全なバリアフリー化はできていません。 スタッフの配置、 情報伝達、 声掛けにより安全に配慮して支援しています。			
	4	生活空間は、 清潔で、 心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援後は、 室内と遊具の清掃及びアルコール消毒を徹底して行っています。 子ども達の活動は、 宿題などの学習スペースと身体を動かす運動スペースを使い分けています。			
業務改善	5	必要に応じて、 こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習をする時に他の児童に見られたくないといった要望があった際には、 個別の部屋を使うことができるようにしています。			
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、 毎日のミーティングや週一回の会議にて業務改善に努めています。			
	7	保護者向け評価表により、 保護者等の意向等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回アンケートを基に取り組んでいます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	○		週に1回会議をしており、 その場でその都度話し合いを行い、 業務改善につなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、 評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後は第三者の立場にある方から、 客観的に評価してもらえる体制を創る予定です。		
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、 研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加や内部研修を実施することで、 支援の資質向上に努めています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、 公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成し、 公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、 こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングや個人懇談を実施し、 丁寧な聞き取りを基に作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、 児童発達支援管理責任者だけでなく、 こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			保育士などこどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮して検討しております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、 計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画を職員間に共有し、 計画に沿った支援を心がけています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、 標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、 日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の状況をフォーマルなアセスメントやインフォーマルなアセスメントを使用し確認しております。			
	16	放課後等デイサービス計画には、 放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、 こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、 具体的な支援内容が設定されているか。		○	支援内容を踏まえ、 児童一人一人に合わせた必要な項目を適切に設定し、 その上で具体的な支援内容を設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで意見を出し合い立案を行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の様子や状態など考慮しながら活動プログラムが固定化しないように工夫を行っています。			
	19	こどもの状況に応じて、 個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、 支援が行われているか。	○		職員間で現在の様子を情報共有し、 必要な活動提供を組み合わせて計画を作成し、 支援を行っています。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、 チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時にリーダーが主となり職員間で一日の動きや送迎確認を行い、 チームで連携して支援を行っています。			
	21	支援終了後には、 職員間で必ず打合せを行い、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時、 その日の子どもの様子や支援を振り返る等情報共有を共有し、 ケース記録に記入しています。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の出来事は終礼時にケース記録に残し、 週1回ケース会議にて今後の改善につなげています。			
	23	定期的にモニタリングを行い、 放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、 適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、 見直しの必要性を確認しています。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		研修時にガイドラインを活用し、 活動時に反映できるようにしています。			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、 自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学習をするタイミングやゲームをするタイミングなど自分で決めてもらったり、 自己決定をする力を育てるための支援を行っています。				
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と児童担当者が参加しています。				

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		カンファレンスなどで関係機関で連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お迎え時、各学校から行事予定表をいただき時間や行事の確認をし、子どもの様子や通所日程などの情報共有しています。月一回通信をお渡しし、取り組み内容を知っていただき連携させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		小学校や特別支援学校（小学部）と連携を取りながら、情報共有と相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		事業所より個別で研修に申し込む等、スキルアップにつなげています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		インフルエンザ・コロナウイルス等感染防止の観点から交流を見合わせていましたが、3月22日に実施予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会などがあれば積極的に参加できるようにしております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から連絡帳や送迎時に伝え合ったり必要に応じて電話連絡や個人懇談の設定、実施により共通理解しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングには至りませんが、話し機会を多く設け日常の子育てでの悩みを聴き親子が良好な関係であるように支援しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧な説明をさせていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個人懇談を設定し、保護者様と話し合いをしてこどもや保護者様の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時に書面で説明を行い、保護者様から同意をもらっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からのご相談は、いつでも対応できるようにし、電話連絡や訪問するなどの対応をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会にて保護者様同士の意見交換をしていただきました。お父さん会も始めて今後も開催予定です。日程が決まりましたら、お知らせいたします。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合には、職員間で情報共有し、速やかに対応を検討できる体制を整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回の通信を保護者様以外にも、学校や関係機関へも発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		従業員に守秘義務に関する契約書に署名をもらっています。また日頃の会話にも注意を払うことを今後も徹底してまいります。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードや必要な手段を用いて意思の疎通を図ると共に、お子様の成長過程において今までと違う言動などは特に注視し、直接保護者様と共有しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		インフルエンザ・コロナウイルス等感染防止の観点から、今年度は実施できませんでした。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員は研修時にも取り入れながら周知し、保護者様にはその都度お便りにてお知らせしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定するとともに、児童と一緒に避難場所の確認の為の外出や、定期的な避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にお薬情報をもろっており、状況に関してはその都度確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様から投薬書や指示書のコピーをいただき、子どもの状況を確認しています。対応が必要な児童が通所された場合は速やかに連携しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練など安全管理が十分されたうえで支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの安全確保に関して、保護者様とも連携し、安全計画に基づく取組内容について説明し保護者様にも周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録を取り情報共有できるようにファイリングし、事故につながらないよう定期的に振り返りを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修も含め、内部研修も行ってあります。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		現在、身体拘束が必要な児童は通所されていませんが、必要な場合には対応してまいります。